

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。
 希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
 ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
 ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
 ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **254** 号

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年7月27日配本 定価3672円(本体3400円+税) トマス・カスリス 著/衣笠 正晃 訳/高田 康成 解説 インティマシーあるいはインテグリティー 哲学と文化的差異 ISBN978-4-588-01047-7 C1310 ★★ なぜ文化をめぐって衝突や軋轢、摩擦が起きるのか。そして、日本人の問いは西洋における哲学的問いの多くと、なぜ異なっているのか。あらゆる文化に共存する二種類の概念を縦横に論じ、従来の日本人論や日本文化論、そして文化決定論の限界を超えて、画期的な「文化哲学」を提示する。比較文化論や異文化コミュニケーション論としても必読。 ☆関連書:T. カスリス『神道』(ちくま学芸文庫)、中島隆博編『コスモロジー』(小局刊)ほか。	四六判上製・320頁 《叢書・ユニベルシタス1047》
-------	----	--	--------------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年8月中旬配本 定価4320円(本体4000円+税) 船橋 晴俊、壽福 眞美 編 「エネルギー転換」への道 ドイツの現在、未来の日本(仮) ISBN978-4-588-62531-2 C0031 ★ 2011年の東日本大震災後、電力の原発依存から脱却する決断を下したドイツと、最悪の事故に見舞われながらもなお再稼働を強行しようとする日本。エコロジカルで持続可能な社会への「エネルギー転換」を可能にする政策は、どのような政治・社会過程をへて実現できるのか。法政大学社会学部が主催し、ドイツの政策決定に関わった専門家や日本の識者が集って実現した国際シンポジウムの記録。 ☆関連書:本田宏・堀江孝司編著『脱原発の比較政治学』(小局刊)。	A5判上製・294頁
-------	----	---	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年8月下旬配本 定価8208円(本体7600円+税) エリー・アレヴィ 著/永井 義雄 訳 哲学的急進主義の成立 I ベンサム青年期 ISBN978-4-588-01037-8 C1310 ★ 1900年代初頭にフランスで生まれた本書は、英国社会思想史の金字塔であり、「最大幸福主義」の哲学者ジェレミ・ベンサムを中心に、ヒューム、スミス、マルサス、リカードウ、ミル父子にいたる近代西欧の政治経済思想を総括した不滅の古典である。いわゆる「功利主義」と訳されてきた思想体系は、経済改革、憲政理論、刑法、道徳哲学などの諸分野に及ぶ革新をもたらしたのか? 全3巻の完訳。 ☆第II巻『最大幸福主義理論の進展』と第III巻『哲学的急進主義』も追って近刊予定です。	四六判上製・460頁 《叢書・ユニベルシタス1037》
-------	----	--	--------------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年8月下旬配本 定価4104円(本体3800円+税) 李穂枝 著 朝鮮の対日外交戦略 日清戦争前夜1876-1893 ISBN978-4-588-60347-1 C3320 ★★ 19世紀後半の朝鮮外交は、宗主国清の言いなりだったと考えられてきた。だが関税や電線の敷設をめぐる日朝交渉に注目すると、逆に清を利用しようとする朝鮮の主體的で自律した姿勢が浮かび上がる。高宗や金弘集、井上馨、李鴻章、袁世凱から欧米の公使にいたるまで、さまざまな思惑が入り乱れた激動の時代の外交史。気鋭の研究者が日朝清のみならず、欧米の文書まで膨大な史料を用いて考察する。 ☆関連書:原田敬一『日清戦争』(吉川弘文館)、趙景達『近代日朝関係史』(有志舎)など。	四六判上製・336頁 《サピエンティア47》
-------	----	--	---------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年8月下旬配本 予価6264円(本体5800円+税) 川端 美季 著 近代日本の公衆浴場運動 ISBN978-4-588-32603-5 C3021 江戸時代に庶民の社交場として興隆をきわめた湯屋は、開港を経て、明治・大正期に行政が主導する保険衛生施設へと変貌を遂げた。工業労働者慰安のための浴場、都市細民教化のための浴場、被差別部落改善のための浴場、そして関東大震災の罹災者救済のための浴場、日本が近代国家へと生まれ変わるための社会事業として営まれたさまざまな浴場をつうじて統治権力と衛生の関係史をたどる。 ☆関連書:新村拓『健康の社会史』、申東源『コレラ、朝鮮を襲う』(いずれも小局刊)など。	A5判上製・320頁
-------	----	--	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年8月下旬配本 定価5076円(本体4700円+税) 山本 健三 著 帝国・〈陰謀〉・ナショナリズム 「国民」統合過程のロシア社会とバルト・ドイツ人 ISBN978-4-588-37603-0 C1022 時は十九世紀。一冊の書物をきっかけに帝国ロシアで「出版戦争」と呼ばれる大論争が勃発した。その書物は、帝国内のバルト地方で数世紀にわたって特権的地位を享受してきたドイツ系住民を、帝国への陰謀を企てる「裏切り者」と糾弾する。そこには、包摂を原則とする帝国の論理に抗い、国家内国家を拒絶するロシア・ナショナリズムが胚胎していた。言論が社会に及ぼす力を描き出す、新しいロシア史の挑戦! ☆関連書:ルイズ・マクレイノルズ『〈遊ぶ〉ロシア——帝政末期の余暇と商業文化』(小局刊)ほか。	A5判上製・264頁
-------	----	---	------------

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
 * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。